

# 多文化共生を めざして

## 猪名川町国際交流協会



▲英語でクッキング



桂かい枝英語落語

### いながわ 特派員報告



中橋 弥里



木下 美由紀

時代は今、国際化社会といわれ、あらゆる分野でグローバルな視点が求められています。現在、猪名川町には16カ国169人の外国の方が住まれており、身近に多文化を感じられるようになってきたのではないのでしょうか。  
今回は、住民主体で国際交流を深めることを目的としている「猪名川町国際交流協会」を紹介します。

#### 国際交流協会とは

猪名川町国際交流協会は、昭和63年の町とオーストラリア・バラット市の姉妹都市提携をきっかけに、住民が中心となって国際交流を進めようと平成元年7月に設立されました。現在、244人、16団体の会員がいます。  
設立当初は、姉妹都市や外国都市との教育・文化・経済などの交流の推進が大きな目的でしたが、近年では在住外国人の会員も増え、会員同士の交流促進や外国人とのふれあいなど国際交流意識の啓発

#### みんなが楽しめる活動

協会では、国際交流を推進するために、さまざまな活動を実施しています。  
7月20日には、落語家 桂かい枝さんを招いて落語会を開催し、かい枝さんのアメリカ公演でのおもしろ話や英語落語、古典落語が披露されました。中でも英語落語は、英語だけで話す難しいものではなく、所要所に日本語を折り混ぜながらの落語で、約200人の観客は大笑いし、楽しい時間を過ごしました。  
また、11月3日に開催される「いながわまつり」には毎年参加しています。今年も、屋外ではオーストラリアの先住民アボリジニの伝統文化であるブーメランを紙で作る「紙ブーメラングづくり体験」

に力を入れ、身近な国際交流を推進しています。

#### 英語スピーチコンテストを開催



▲英語スピーチコンテスト(上)と表彰式(下)の様子

9月6日、社会福祉会館で第18回猪名川町英語スピーチコンテストが開催され、町内の中学生41人、高校生3人が参加しました。

中学生は学年毎に決められた課題文の暗誦、高校生は「将来の夢」などのテーマで弁論を行い、日頃の学習の成果を発揮しました。

発音・イントネーション・流ちょうさに加え、高校生に関しては、内容と文法、語らいなども総合的に審査され、各部門ごとに優秀者3人ずつが選ばれました。

また、昨年度の高校生の優勝者と準優勝者によるバラット市派遣の報告も行われ、ホームステイ先での楽しい経験談などが紹介されました。

国際交流協会会長の山田恵美子さんは「スピーチコンテストは、中高生が英語に親しむことで世界に目を向けるきっかけとなり、チャレンジによって大きく成長できる機会になっていると思います。多くの卒業生を生んだこのコンテストを、これからもずっと継続していきたいです」と話されました。

を、屋内では「いなぎっず」コーナーで英語絵本の読み聞かせや英語を用いたのゲームを行います。例年、幼児や小学生、保護者に大人気で、ブーメランは人であふれています。  
今後は、外国人のゲストを招いて英語を使いながら調理する「英語でクッキング」や各種交流会なども開催する予定です。ぜひ一度参加してみてください。

#### 私達にもできる

#### 国際交流

協会では、国際交流についての情報提供や情報交換のツールとして、会報誌「ハロー」の発行やホームページの開設をしています。  
他にも、中学生・高校生を

#### 会員を募集しています！ ～私達と一緒に活動しませんか～

協会では、楽しく国際交流ができる多彩なイベントを行っています。国際交流協会と言うと、英語が話せる人や海外経験のある人ばかりと思われがちですが、好奇心のある人なら誰でも大歓迎です。興味や関心のある人は、ぜひ参加してください。



▲協会理事の皆さん

▶問合せ 国際交流協会事務局 (コミュニティ課内 ☎ 766-8783)

対象にした「英語スピーチコンテスト」や「英会話教室」など、英語に触れ、勉強ができる機会を設けたり、外国人を対象に「日本語教室」も開催しています。

また、使用済みプリペイドカードなどを収集して海外支援を行ったり、外国コインの募金活動を実施し、日本ユニセフ協会の活動にも協力しています。このように多様な活

動を行いながら、住民主体による国際交流に取り組んでいます。  
皆さんも「国際交流」を堅苦しく考えるのではなく、身近なことから始めてみませんか。

#### 後編 記集



スピーチコンテストの取材では、中高生のしっかりとした発表に感心するところも、以前の優勝者である大学生がボランティアとして参加し、後輩達を温かく見守っている姿が印象的でした。

国籍や文化の違いを越えて互いを認め合い、理解し合うという国際交流の考えの根本は、すべての人に対して思いやりの心を持つことなのではないかと思えました。

【いながわ特派員